

富士市CNF関連産業推進構想

CNFでつながり ひろがる
ものづくりのまち ふじ

2019年3月
富士市

はじめに

本市は、富士山からの豊かな地下水等を利用して、古くから紙のまちとして発展し、田子の浦港の築造や東名高速道路の開通などを契機に、輸送機械や化学工業、薬品等の企業が進出し、県内有数のものづくりのまちとして、地域経済の発展に重要な役割を果たしております。

しかしながら、少子高齢化の進行に伴う経済規模の縮小や産業構造の変革、新興工業国との競争は、本市にも大きな影響をもたらしております。今後も持続的なものづくりのまちであるためには、新産業の創出や高付加価値の製品開発等による足腰の強い産業構造の構築が強く求められます。

このような中、本市では植物由来で環境にやさしく、本市の基幹産業である紙・パルプ産業とも関連の深い新素材であるセルロースナノファイバー（CNF）に着目し、その実用化促進に向けた取組を展開してまいりました。

CNFの研究開発は急速なスピードで進んでおりますが、価格や用途開発等を含め、今後の動向に不透明な部分も多く、その活用について、二の足を踏んでいる事業者も多いのではないのでしょうか。

このような状況において、行政は事業者が取組のすべてを委ねるのではなく、積極的に支援することが重要であると考えております。

この考えのもと、本市産業の活性化、ひいては持続可能な社会の形成に向けて、これまでの取組を飛躍させ、CNF関連産業の集積を図るため、「CNFでつながりひろがるものづくりのまちふじ」を目指す将来像とする「富士市CNF関連産業推進構想」を策定いたしました。

推進構想に基づき、CNFの普及啓発や用途開発を加速化するための諸施策を展開いたしますが、「CNFでつながりひろがるものづくりのまちふじ」の実現は、行政のみで成し遂げられるものではなく、事業者や大学等の高等教育機関、産業支援機関、他地域のCNF推進機関等との幅広い連携が不可欠となります。

推進構想の着実な実行にあたり、多くの関係者の皆様のご理解とご協力をお願いするとともに、推進構想の策定にあたり貴重なご意見・ご提言を賜りました策定会議の委員の皆様にご感謝申し上げます。

平成31年3月



富士市長 小長井 義正

CONTENTS

序章	CNF（セルロースナノファイバー）とは	1
第1章	富士市CNF関連産業推進構想とは	2
	1 推進構想策定の背景と目的	2
	2 CNFを活用した取組を富士市で進める意義	3
	3 推進構想の位置付け	4
	4 構想期間	4
第2章	国内及び富士市を取り巻く概況	5
	1 国内の社会環境の変化	5
	2 富士市の概況	7
	3 富士市の工業の整理・分析	9
第3章	CNFに関する動向・課題	11
	1 国内の動向	11
	2 静岡県及び富士市の取組	16
	3 企業・関係団体等の実態	18
	4 CNFに取り組む上での富士市の強みと弱み	21
	5 課題の抽出と整理	22
第4章	目指すべき将来像と方針	23
	1 目指すべき将来像の設定	23
	2 将来像の実現に向けた方針	24
第5章	推進構想に基づく施策	25
	1 施策の展開	25
	2 施策の展開スケジュール	29
	3 短期的なアクションプラン	30
第6章	推進体制と進行管理	32
	1 関係者の役割と推進体制	32
	2 進行管理について	33
	3 成果指標について	33
	参考資料	
	策定の経過	34
	推進構想策定会議委員からの寄稿文	35
	用語の解説集	38